

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業（まなびCAN・子ども教室）

「科学絵本を楽しもう！」を開催しました。

平成30年6月30日（土）、香川県子ども文庫連絡会の藤井則子さんを講師に迎え、「科学絵本を楽しもう！」を開催しました。

『科学絵本』とは、動物や体、遊びなど、私たちにとって身近なものを写真や絵を多用して分かりやすく説明した本です。写真や絵が多いので、物語を読むのが苦手な子どもたちでも比較的手に取りやすいと思います。



当日は、30冊ほどの科学絵本を講師に用意していただきました。その中から数冊、講師が子どもたちに読み聞かせをして、残りの時間で興味を持った本を各自、自由に読んでもらうことになりました。



初めに、鳥の巣に関する本を読んでいただきました。鳥によって巣の作り方や材料に違いがあります。例えば、ツリスガラという鳥は巣を作る時に羊の毛を使うそうです。講師は、どんな鳥の巣があるのか実際に見てもらったほうがいいということで、家の庭で見つけた、ひなが巣立ったメジロなどの鳥の巣を3種類持ってきて見せていました。実際に鳥の巣を間近で見られることが少ないためか、子どもたちは興味津々でした。

次に、数冊の本の読み聞かせをした後、簡単なゲームをしました。縦横4個ずつ、計16個の食べ物の絵が描かれた大きな紙の中から一つ、講師に見えないように子どもたちが選びます。その後、講師が4回子どもたちに質問をして、選んだ絵を当てるというものでした。子どもたちはどうして当たったのか何度も講師に聞いていました。講師が種明かしをすると、子どもたちは当てる人と絵を選ぶ人に分かれて実践していました。

また、あやとりの紐にセロハンテープの芯を通し、あやとりの「橋」を作り、あやとりの紐から指を外さずにセロハンテープの芯だけを抜きとるという手品もありました。あやとりをしたことがある子は早くコツをつかんで出来ていました。

最後に、講師から「今回紹介した他にもたくさんの科学絵本があるので、ぜひ図書館で探してみてください。」と子どもたちに話し、講座を締めくくりました。

【講座で紹介したおもな本】

- ・「ふしぎな鳥の巣」鈴木まもる/文・絵 偕成社
- ・「鳥の巣いろいろ」鈴木まもる 偕成社
- ・「ダンゴムシみつけたよ」皆越ようせい/写真・文 ポプラ社
- ・「昆虫の体重測定 - たくさんのふしぎ 2016.4月 No.373」吉谷昭憲/文・絵 福音館書店
- ・「てじなでだましっこ」佐伯俊勇/さく 福音館書店